

大腸ポリペクトミーを受けられる方へ(1泊2日)

患者氏名() 主治医() 担当看護師()

	当日		1日後
	術前	術後	
達成目標	①不安が表出できる ②治療の目的を理解することができる ③合併症の内容を理解できる	①痛みがない ②嘔気・嘔吐がない ③下血がない ④便の色が正常	①痛みがない ②嘔気・嘔吐がない ③下血がない ④便の色が正常 ⑤退院が可能である
注射	入院後、絶食のため点滴を開始します。		
処置	便の排泄が不十分の場合、浣腸処置を行います。		
検査			朝に採血があります。
安静度	歩行可能です。内視鏡室へは歩いて行きます。	内視鏡室から車椅子で部屋に戻ります。帰室後歩行し可能ですが、出血しやすいためできるだけ安静にしてください。	
食事/水分	絶食です。水・お茶は飲めます。	絶食です。水・お茶は飲めます。	採血結果がよければ朝食から食事が始まります。
留置物	点滴針を留置します。	点滴終了後も針は留置したままで、翌朝の採血の結果で問題がなければ抜きます。	採血結果問題なければ点滴の針を抜きます。
観察	便の性状をお知らせください。	検査後も便の性状をお知らせ下さい。出血などある場合は流さずトイレからナースコールでお知らせ下さい。	
薬剤	必要時に薬剤師より点滴、内服薬などについて説明します。持参薬がある場合、看護師へ提出してください。		
説明	処置の流れを説明します。承諾書を提出してください。	腹痛や嘔気があれば、すぐにお知らせ下さい。不安な事や分からない事があれば遠慮なく看護師へお聞き下さい。	退院後の生活については、次のページをご覧ください。次回の外来受診日をお伝えします。

～退院後の生活について～



<食事>

消化がよく軟らかいものを摂りましょう。固いものは出血を引き起こす原因となります。また、刺激物も避けましょう。アルコールやタバコは基本的に2週間は禁。

<入浴>

熱い湯・長風呂は出血の原因となりますので避けましょう。

<排泄>

便の状態を観察しましょう。

胃：黒っぽい便であれば出血の可能性があります。

腸：赤っぽい便であれば出血の印です。

※上記のようなことがあれば病院に連絡をし状態をお伝えください。

